活動日誌

6月16日

19日

2 1 日

22日

24日 26日

> 1 日 7 日

7月

励(写真B)

日本共産党 4 議席確保

田名部匡代氏当選果たす

定例県議会(6月17日閉会)

県農協中央会会長との懇談

青森県商工会議所連合大会

核燃原発 NO! 金曜日行動

弘前を盛り上げる情報交換会

核燃だまっちゃおられん津軽の会 市民講座弘大名誉教授佐原雄二氏 「大規模風力発電とメガソーラー諸問題

弘前工業研究所 100 周年記念式典

知事による高品質りんご生産現地激

安保法制反対市民集会デモ(写真A)

いわぶち友氏

## 日本共産党青森県議会議員 安藤はるみの

## ・アジサイだより









なぜおきた 銃 Ø 惨 劇

(はるみのワクワク川柳 真相を



## で質問 総務企画危機管理委員会

私立学校の耐震化全 私立学校耐震化促進 業の思い切った拡充

現在私立中高の耐震化 4%で41棟が

現在の基準地震動は再

街頭で大学の授業料半額、給食費の無償化と 政治を変える大切な一票と訴えてきました。

いう訴えには、高校生や大学生が手を振っ

耐震化されていない 率は66. (幼・幼保は21棟)

の耐震改築上限5千万円 私立学校耐震促進事業

0%の三重県1億6千万 めました。 に学んで更なる拡充を求 補助を耐震化率1 0

あおもり若者定着奨学 引きあがってきたこと、 直される可能性を秘めて 今後も新知見を踏まえ見 れるごとに基準地震動は

から共感の声が寄せられ「選挙にもいきま

財政的負担は消費者に跳 が必要となります。 地震動も上がり補強工事 を無くすことと訴えまし を起こさない担保は原発 ね返ります。 おり、その度ごとに基準 原子力災害

の促進を

かし、大学生の県内企 金返還支援制度を生

栗への就職支援で定住

度採用から開始します。 周知し若者の定着を図る 就職予定者、県内企業に する制度で、 2023年

 $\mathcal{O}$ 

その中には、

年金暮らしの方の

ような底辺の人間は国からも政治からも

6 月

15

ともに、原子力災害を の基準地震動を問うと 原発はストップを 起こさない担保として 原子力施設の耐震設計

悲痛な声が寄せられました。皆さんの

しまい、今度は店をたたむしかない」という ロナが増え続け、休業要請出されたらもう 怒りの声、飲食店の女性オーナーは「また 年金が減らされないとならないのか」という 見放され選挙に行く気力も出ない」「なんで

活断層の活動性が認めら 東通り原発が600ガル 処理工場が700ガル、 かし、これまでも新たな となっていると答弁。 本町などを訪問した際にも若い経営者など り」と応じて頂きました。 の訴えには高齢者の方も若い方も「その诵 の必要性を痛いほど感じる日々でした。 から温かな強い経済社会に変えていくこと だと感じました。冷たく弱い新自由主義社会 元気に応えてくれました。身をもっての要 憲法を変えずに戦争を許さない政治をと

す」との声には心強さを感じました。 憲勢力が3分の2を超えるという選挙の でした。しかし、私たちの声は届けきれず改 れてありがとう」の声に疲れが吹き飛ぶ思 くれて感謝します」「わざわざ電話をしてく 対話の際「暑い中私の所にまで足を運んで

参議院選挙 IZ つ Y 9 イ

弘前市宮川2丁目3-2 電話0172-35-7021

10:00~15:00 (土・日・祝日休み 留守電対応) ando⁻harumi@theia.ocn.ne.ip ホームページアドレス http://ando-harumi.com/

土手町や親方町

自宅0172-35-2270 6月の相談件数5件 ホームページアクセス数 55,721 件

-度の選挙で多くの方と対話を重ねまし

議に待 匡代さんの当選も大変嬉しかったです。 議院議員を先頭に進めてまいります。田

果は悔しく恐ろしい限りです。しかし改憲発

ったをかける取り組みを4人の新

発行:安藤はるみ

9条守九!緊急事態条項反対

改憲発議を阻止しよう

Α

4つの質問をおこないまし 他に知事提案議案に対する

返還を県と企業等とで

30万~150万円支援

き続けたとき、

奨学金

定期間県内に住み、

働

大学を卒業した若者が